



peers

NEW NORMAL ACCELERATION

2024年9月期 第3四半期

決算説明資料

株式会社ピアズ

東証グロース市場(証券コード：7066)

2024年8月

1. 実績

2. 第3四半期 事業トピックス

3. 株主還元策

4. 会社概要

連結売上高

45.1億円
(前年同期比 +7.8%)



微増

連結営業利益

3.8億円
(前年同期比 +48.3%)



大幅増

当期純利益

3.0億円
(前年同期比 -10.5%)



減

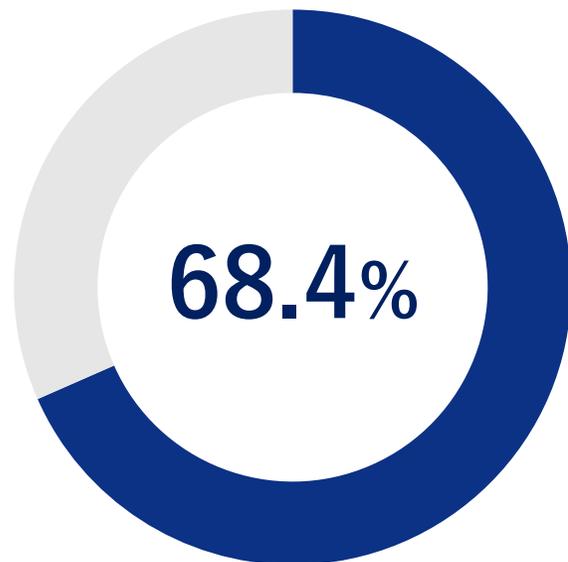
EBITDA

4.7億円
(前年同期比 +28.8%)



微増

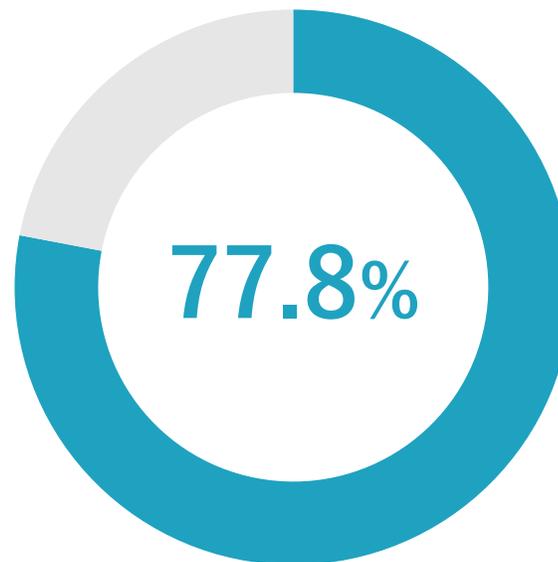
売上



3Q進捗 4,513百万円

年度計画 6,600百万円

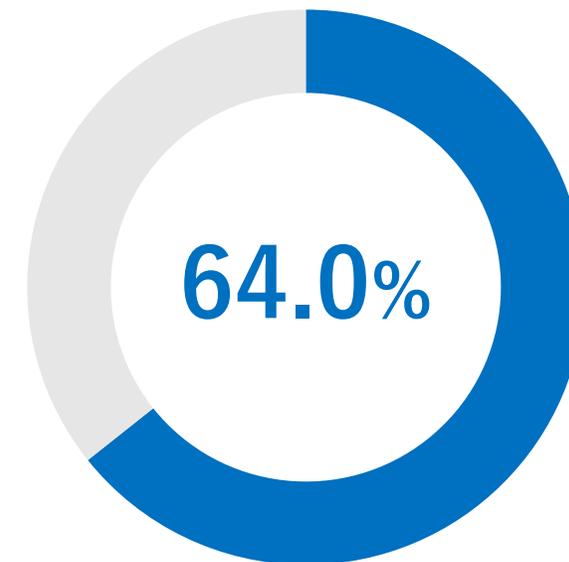
営業利益



3Q進捗 389百万円

年度計画 500百万円

当期純利益



3Q進捗 301百万円

年度計画 470百万円

POINT 1



営業利益の増加要因

- 買収した子会社を吸収合併したことで、効率的な経営を実現
- コンサルティング等の収益性の高い案件に注力

POINT 2



当期純利益の減少要因

- 特別損失としてオフィス移転に伴う現状回復費、過去の事業にて発生した商品の整理損を計上

効率的な運営を目指したことで、順調に利益を積み上げる。

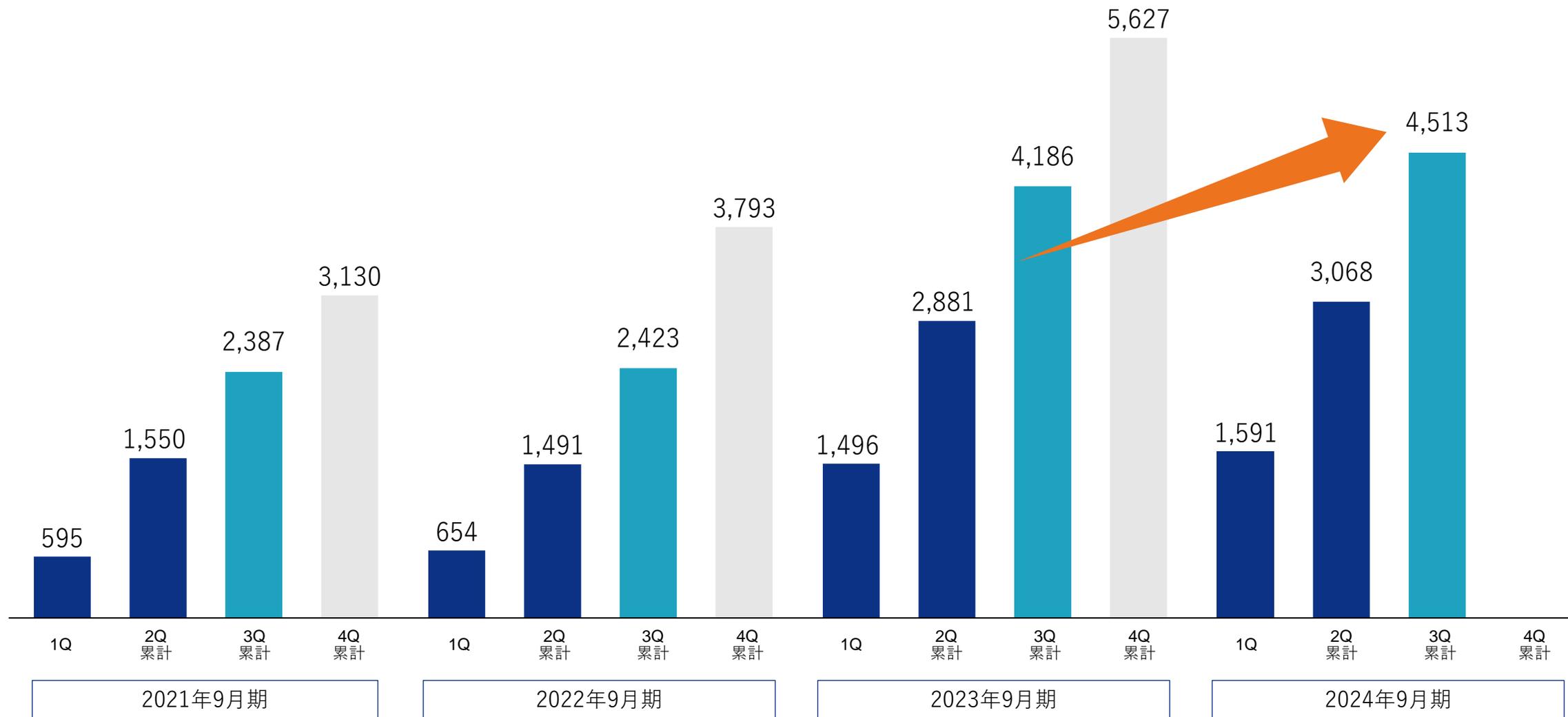
(単位:百万円)	2023年9月期 第3四半期	2024年9月期 第3四半期	前年同期比
売上高	4,186	4,513	+ 7.8%
売上総利益	1,128	1,249	+ 10.7%
営業利益	262	389	+ 48.3%
経常利益	252	401	+ 58.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	336	301	-10.5%
EBITDA	370	477	+ 28.8%

事業譲受をしたことで、現預金は一時的に減少したものの、純資産は順調に増加。

(単位:百万円)	2023年9月末	2024年6月末	増減額
流動資産	3,664	2,944	▲720
(うち、現預金)	2,771	2,203	▲568
固定資産	1,084	1,550	465
(うち、のれん)	190	553	362
資産合計	4,749	4,495	▲254
流動負債	1,129	942	▲187
固定負債	1,264	961	▲302
負債合計	2,394	1,904	▲490
純資産合計	2,355	2,590	235
負債純資産合計	4,749	4,495	▲254
自己資本比率	49.6%	57.6%	+ 8pt

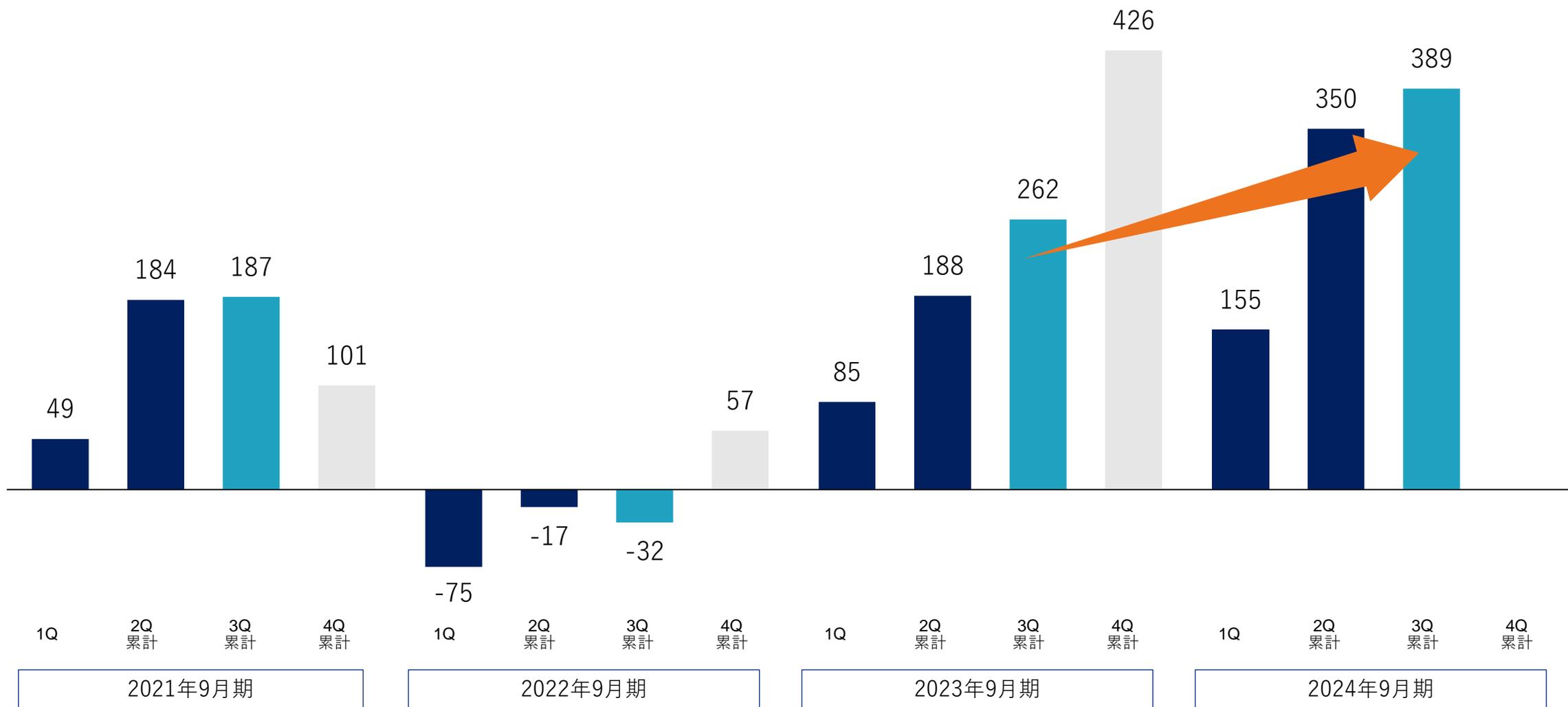
四半期別 連続売上高推移

成長率は少し鈍化したものの、確実な増収を実現。



四半期別 営業利益推移

効率的な運営をしたことで、売上高の増加以上の利益成長を実現。



1. 実績

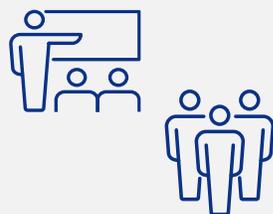
2. 第3四半期 事業トピックス

3. 株主還元策

4. 会社概要

POINT

1



事業譲受を実施

- 株式会社ワイヤードパッケージから2事業を譲受
- 200名近いエンジニアの獲得によって、システム開発の内製化や、AIボーディング事業の成長加速を目論む

POINT

2



事業譲受と
人材採用により
一過性コストが発生

- 事業譲受に伴う仲介手数料が発生
- 積極的な人材採用により、既存事業の成長加速を狙う
- これらは成長へ向けた一過性の投資である

POINT

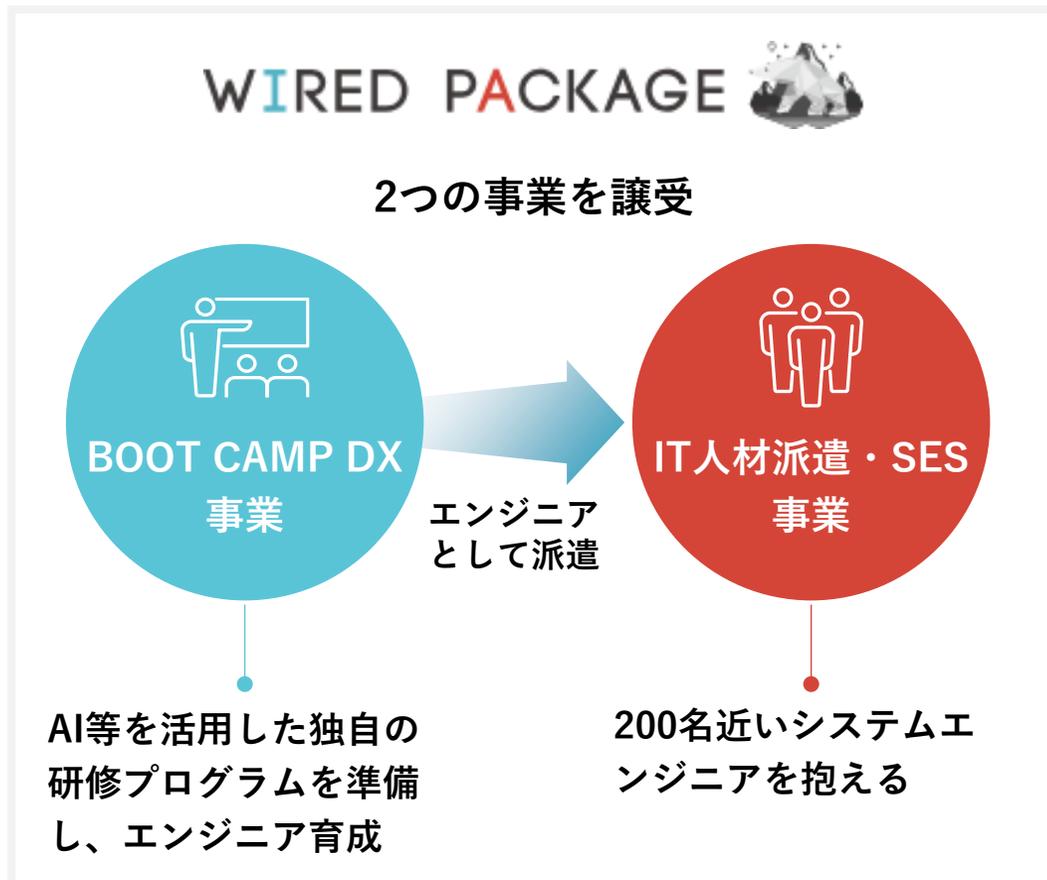
3



事業譲受と
人材採用による
通期業績への影響は軽微

- 事業譲受に伴う費用や人材採用費用などの一過性のコストが発生
- 通期業績は予想に準じた進捗である

SESを中心とした事業を譲受したことにより、システム開発の内製化をはじめ、セールスプロモーション事業への人材派遣や、AIボーディング事業やリスティング支援事業の成長加速にも繋げる。



1. 実績

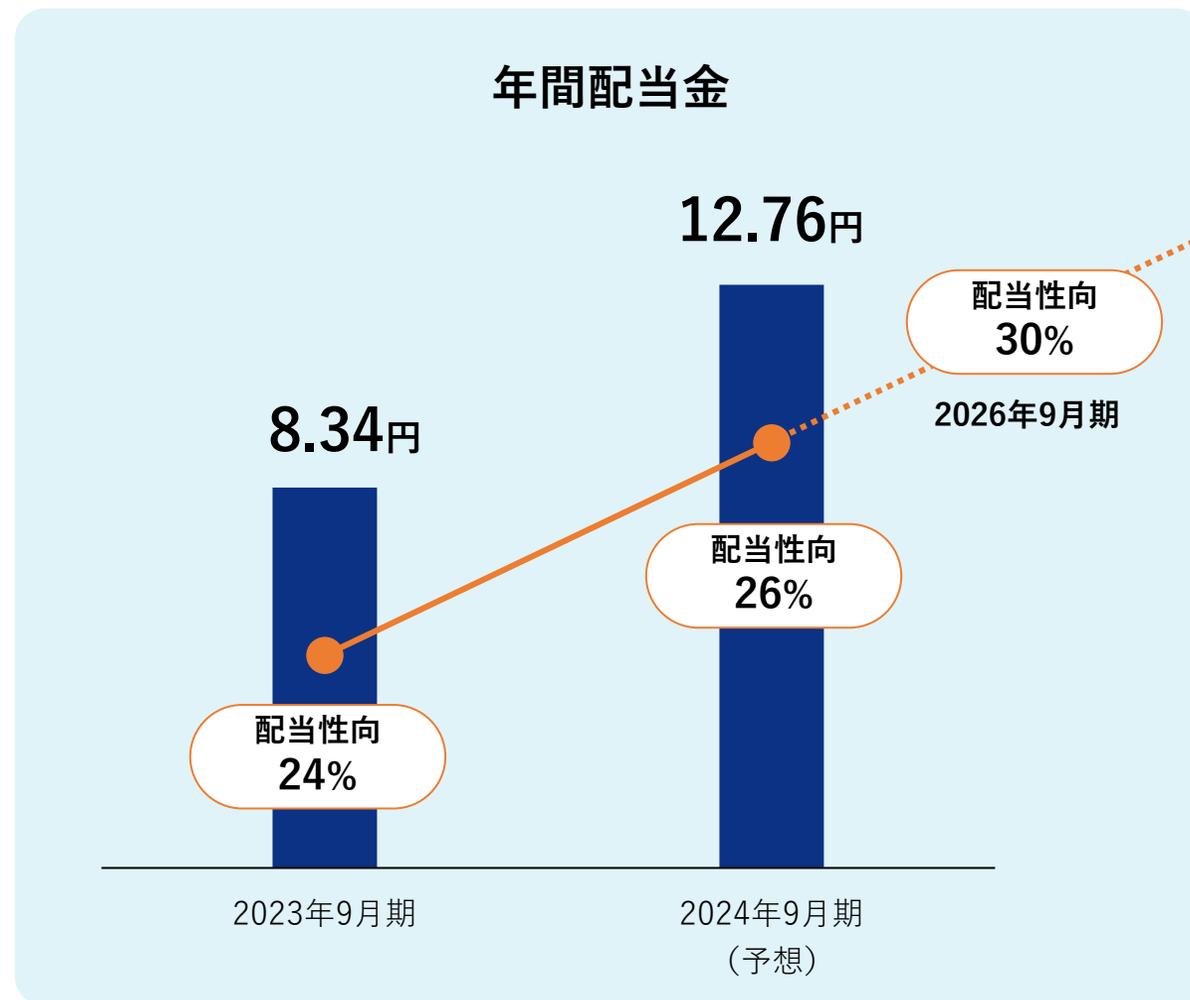
2. 第3四半期 事業トピックス

3. 株主還元策

4. 会社概要

当社グループは、企業成長と共に、配当による株主への利益還元も重要な経営課題であるとし、配当性向を30%を目標としている。

当期の期末配当金は、業績予想及び財務基盤の充実と投資のバランスを勘案した上で、配当性向26%とし、配当金額予想を12円76銭とする。



1. 実績

2. 第3四半期 事業トピックス

3. 株主還元策

4. 会社概要



会社概要

社名	株式会社ピアズ
事業開始	2005年1月
所在地	東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー15F
代表取締役	桑野 隆司
従業員数	815名(社員458名・委託社員357名) ※2023年9月時点、グループ会社を含む
上場市場	東証グロース 証券コード7066 (2019年6月20日上場)
資本金	67百万円 ※2023年9月末時点

グループ会社

株式会社Qualiagram

2Links株式会社

株式会社マックスプロデュース

いつかの未来を、いつもの日々に

NEW NORMAL ACCELERATION

INNOVATION

先端技術

社会実装



当社の祖業

顧客接点である店舗での商品販売促進のための企画提案、運営支援、人材派遣等をパッケージサービスとして提供。

セールス
プロモーション
事業

いつかの未来を、いつもの日々に

NEW NORMAL ACCELERATION

AIボーディング
事業

注力領域

企業の人的資本経営を支援するサービスとして研修、リスクリング、eラーニング等を提供。同時に「mimik」などのデジタルプロダクトなどを伸ばす。

オンライン接客
事業

新たな安定的収益源

オンラインでの接客支援サービス。店舗とコールセンターを接続するシステムを提供することで、店舗現場の販売を支援。店舗DXから名称変更。

2005年の創業から約20年。

「いつかの未来を、いつもの日々に NEW NORMAL ACCELERATION」というパーパスを新たに掲げました。

ピアズグループは、先端技術やイノベーションの社会実装を通じ、社会の変化を加速させ、世の中をもっと豊かに、もっと便利にしていくことで社会に貢献する存在でありたいと考えています。

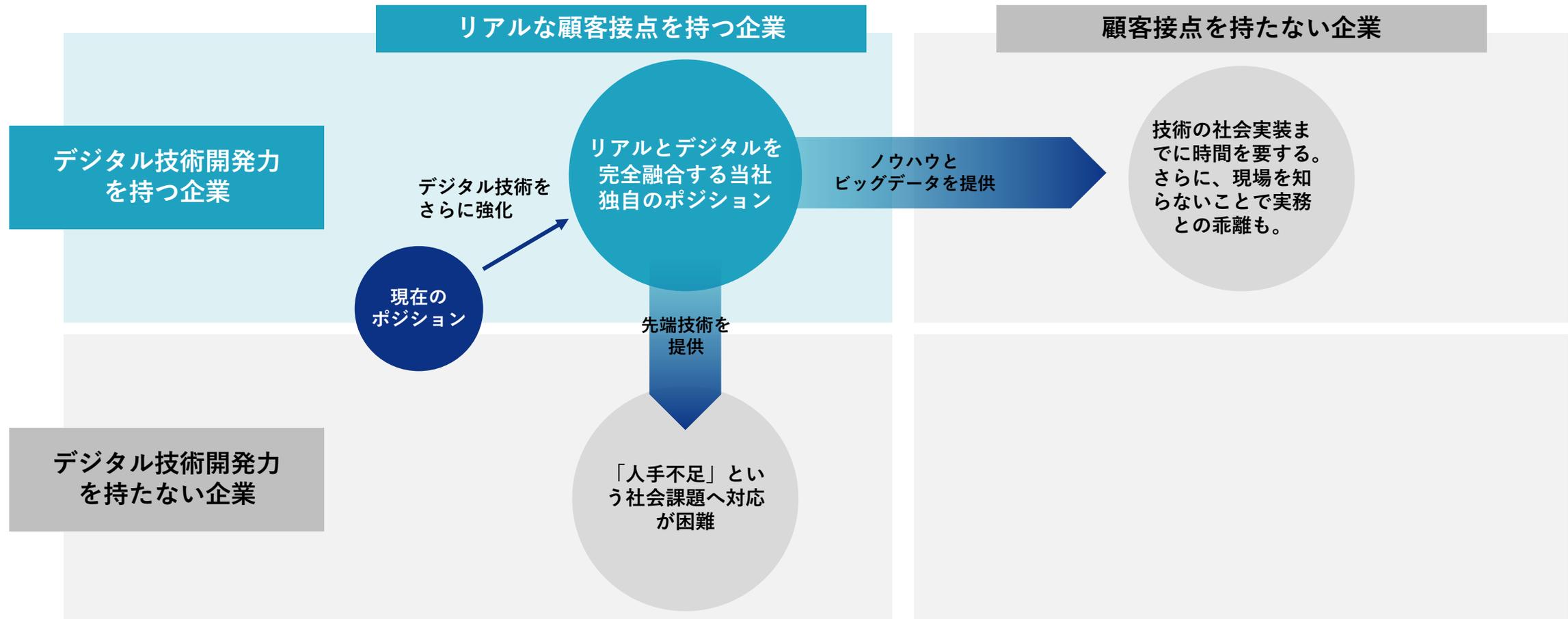
そのためにも、新規事業の創出のみならず、M&Aを通じ事業ドメインを拡大し多角化を図ることで、さまざまな事業を展開していきたいと考えています。
その中で、グループ各社においても個々に成長を目指しながら、相互に事業シナジーを創出しています。

企業の成長の原動力は言うまでもなく「人」です。
これから多くの仲間が増えていく中で、パーパスという共通の言葉を掲げ、創業から変わらない想いをつなぎ、いつかの未来を、いつもの日々にしていきたいと思っています。



代表取締役 社長 桑野隆司

当社の強みを活かしつつ、社会変化による需要を捉えるため、「リアルとデジタルを融合した接客・店舗支援サービス」を提供できる唯一無二のポジションを目指す。このポジショニングにより、競合企業に対するビジネス展開も可能に。



2026年9月期に、

売上	営業利益
100億円 (23年比 +77%)	10億円 (23年比 +134%)

を達成する。

なお、本目標の前倒し達成に向けて、全社一丸として取り組む。

免責事項

- 本資料に記載された将来情報等は、本資料作成時点における弊社の認識、意見、判断及び予測であり、その実現を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果と乖離が生じる可能性がありますのでご承知おき下さい。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。
- 当資料のアップデートは今後、毎年12月を目処として開示を行う予定です。

IRに関するお問い合わせ

株式会社ピアズ 管理本部 IR担当

E-mail ir@peers.jp

URL <https://peers.jp/ir/contact>

いつかの未来を、いつもの日々に

NEW NORMAL ACCELERATION